

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	吳 映璇 【比較社会文化学専攻 平成25年度生】	本研究は、JFL 環境の台湾人日本語学習者と日本語母語話者との台日接触場面における合意形成会話での台湾人日本語学習者と日本語母語話者の言語行動の相違点を明らかにし、異文化間コミュニケーション教育に寄与することを目的とする。話題提起から意見を表明し、相手と話し合い、結論に至るまでの会話を分析対象とし、発話カテゴリーに着目して研究を行った。
論文題目	台日接触場面における合意形成会話に関する研究 —台湾人上級日本語学習者と日本語母語話者を中心に—	本研究は、以下の3つの研究から構成される。まず、研究1は合意形成会話の全体的構造に着目し、学習者と母語話者それぞれが担当する役割があり、その役割を十全に果たすことで合意形成に至ることが明らかになった。次に、研究2では同意表現の実態を考察した。その結果、「実質的な発話」により同意を表明する例はほとんど見られず、学習者、母語話者、いずれも相づちのみで同意を表明する傾向があること、学習者は前発話の話者である母語話者の発話に依存して発話をする、母語話者は同意表現を重ねて使用する傾向が示された。そして、研究3では「まとめ発話」について分析した結果、学習者は会話の途中で今まで話してきた内容を一度まとめてから話し合いを続ける特徴があるのに対して、母語話者は会話の途中及び終了部の二か所でまとめ発話が見られるということが明らかになった。また、会話全体をとおして母語話者にはまとめ発話が多く、母語話者は会話のまとめ役を担っていることが示唆された。
審査委員	(主査) 教授 佐々木 泰子	
	准教授 山腰 京子	
	講師 加納 なおみ	
	助教 石井 久美子	
	准教授 ALLEN DAVID BRIAN	
インターネット公表	○ 学位論文の全文公表の可否 (可 ・ <input checked="" type="radio"/>) ○ 「否」の場合の理由 ア. 当該論文に立体形状による表現を含む イ. 著作権や個人情報に係る制約がある ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている <input checked="" type="checkbox"/> 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている ※本学学位規則に基づく学位論文全文のインターネット公表について	第1回審査会では、先行研究で示された結果と異なり、学習者も積極的に会話に参加していることが会話例とともに示されている点が異文化間のコミュニケーション教育に具体的な示唆を与えるものと評価された。しかし、表の示し方に修正すべき点があること、分かりにくい表現があることなどが、改善すべき事項として指摘された。申請者がこれらの要求に十分に応えた修正版を作成したことを確認した後、最終審査に進むことを決定した。 公開発表会では重要な点を簡潔にまとめた分かりやすい発表を行い、参加者や審査委員の質問にも真摯な姿勢で的確に回答した。以上によって審査委員会は、博士(人文科学)(Ph. D. in Applied Linguistics)の学位授与に相当すると判断し、合格とした。

